



バーコードのきほん

しゅるい よ かた きさいせつてい
種類・読み方・記載設定のひみつ



商品についている黒と白のしましま。
これがバーコード。読みとり機が**一瞬**で数字を読む。

1 バーコードってなに？

黒いバーと白いすき間の「はば」で、
数字や文字をあらわすしるし。

- ✔ 黒バー+白スペースで表す
- ✔ レーザーやカメラで読む
- ✔ 横方向に読みとる
- ✔ 下の数字は人が読む用



2 よく使う種類

用途ごとに形がちがう。
身近なのは商品についているJANコード。

- ✔ JAN (EAN-13) = 商品・13桁
- ✔ CODE128 = 英数字・物流
- ✔ CODE39 = 工業・部品
- ✔ QRコードは二次元タイプ

JAN (EAN-13)



CODE128



CODE39



3 JAN(13桁)のしくみ

日本の商品コード。さいごの1桁は
まちがいを見つける数字。

- ✔ 先頭の「45」「49」= 日本
- ✔ つづきはメーカーと商品の番号
- ✔ 最後=チェックディジット



4 きれいに作るコツ

読みとり機がまよわないように、
記載のきまりを守る。

- ✔ 左右の余白を広くあける
- ✔ 黒バー×白地でくっきり
- ✔ 高さ・太さは十分に
- ✔ うすい色や反転はダメ



余白とコントラストが読みとりのカギ!

